

「健全経営の持続に向けた考え方と料金水準について」

--参考資料--

1. 吹田市の料金改定の経緯と現行料金

(水道事業年報 令和7年度(2025年度)版 P26~28)

2. 逓増度と水需要構造

3. 給水量と給水人口

4. 物価上昇の度合い

(出典：国土交通省 建設工事費デフレーター)

5. 収益的収支と単年度純損益

6. 資本的収支と建設改良工事費

7. 運転資金残高

8. 企業債残高対給水収益比率

9. 水道料金の算定(概要)

(参考文献：「水道料金算定要領」公益社団法人 日本水道協会 令和7年2月)

10. すいすいビジョン2035における目標

11. 今後の審議内容

現行料金

令和2年(2020年)							
基本料金	従量料金(1m ³ につき)						
	6m ³ まで	7m ³ ～ 10m ³	11m ³ ～ 20m ³	21m ³ ～ 30m ³	31m ³ ～ 50m ³	51m ³ ～ 300m ³	301m ³ ～
900円	0円	40円	140円	200円	250円	290円	330円
990円							
1,250円							
1,500円	60円		200円	250円	290円	330円	
2,700円							
4,900円							
11,000円	60円		200円	290円	330円		
31,000円							
126,000円							
280,000円							
512,000円							

基本料金	従量料金(1m ³ につき)
990円	75円
メーター口径 に準ずる	450円

1回当たり	100円
	15.2 %

※令和元年(2019年)12月検針分から消費税相当額を10%に改定

(1)水道料金の変遷 (1か月につき)【昭和51年～平成9年】

種 別	改 定 年		昭 和 51 年 (1 9 7 6 年)				昭 和 52 年 (1977年)				昭 和 53 年 (1978年)				昭 和 54 年 (1979年)				平 成 元 年 (1989年)				平 成 5 年 (1993年)				平 成 9 年 (1997年)			
			基 本		超 過		基 本		超 過		基 本		超 過		基 本		超 過		基 本		超 過		基 本		超 過		基 本		超 過	
	水量	料金	水量		料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	
小 口 専 用	10	260	第1段	10m³を超え 20m³まで	35	10	290	第1段	50	10	370	第1段	60	10	390	第1段	60	10	460	第1段	70	10	600	第1段	90	10	720	第1段	110	
			第2段	20m³ " 30m³ "	40			第2段	60			第2段	75			第2段	75			第2段	95			第2段	125			第2段	160	
一 般 専 用	10	310	第3段	30m³ " 50m³ "	45			第3段	75			第3段	90			第3段	95			第3段	125			第3段	165			第3段	210	
			第4段	50m³ " 300m³ "	55	10	340	第4段	90	10	400	第4段	110	10	420	第4段	115	10	490	第4段	155	10	640	第4段	205	10	770	第4段	260	
			第5段	300m³ " 1,000m³ "	80			第5段	110			第5段	130			第5段	135			第5段	190			第5段	245			第5段	310	
集 団 住 宅 用	10	260	第6段	1,000m³を超える分	105			第6段	130			第6段	150			第6段	160			第6段	225			第6段	291			第6段	350	
						10	290			10	370			10	390			10	460			10	600			10	720			
公 衆 浴 場 用	1m³につき 25 円				1m³につき 30 円				1m³につき 40 円				1m³につき 40 円				1m³につき 45 円				1m³につき 60 円				1m³につき 75 円					
臨 時 用	1m³につき 105 円				1m³につき 160 円				1m³につき 180 円				1m³につき 200 円				1m³につき 270 円				1m³につき 380 円				1m³につき 450 円					
家 事 共 用	10	260	1m³につき 30円			10	290	1m³につき 35円		10	370	1m³につき 50円		10	390	1m³につき 50円		10	460	1m³につき 65円		10	600	1m³につき 90円		10	720	1m³につき 110円		
平均料金改定率	45. 52 %				35. 00 %				19. 77 %				3. 94 %				26. 88 %				29. 85 %				23. 13 %					

(1)水道料金の変遷 (1か月につき)【平成19年～平成28年】

種 別	改 定 年		平 成 19 年 (2007年)				平 成 22 年 (2010年)			
			基 本		超 過		基 本		超 過	
	水量	料金	水 量		料金	水量	料金	水量	料金	
小 口 専 用	6	600	第1段 6m ³ を超え 10m ³ まで		30	6	600	第1段 30		
			第2段 10m ³ " 20m ³ "		110			第2段 110		
一 般 専 用	6	650	第3段 20m ³ " 30m ³ "		160	6	650	第3段 160		
			第4段 30m ³ " 50m ³ "		210			第4段 210		
			第5段 50m ³ " 300m ³ "		260			第5段 260		
集 団 住 宅 用	6	600	第6段 300m ³ を超える分		310	6	600	第6段 310		
公 衆 浴 場 用	1m ³ につき 75 円					1m ³ につき 75 円				
臨 時 用	1m ³ につき 450 円					1m ³ につき 450 円				
家 事 共 用	6	600	第1段 6m ³ を超え 10m ³ まで		30	6	600	第1段 30		
			第2段 10m ³ を超える分		110			第2段 110		
口座振替割引	1回当たり 50円					1回当たり 100円				
平均料金改定率	△3. 36%					△0. 5%				

※平成13年(2001年)7月1日(8月検針分)から水道料金、メーター料に消費税相当額を転嫁(外税5%)

改 定 年			平 成 28 年 (2016年)							
区分	メーター 口径 (mm)		基本料金	従量料金(1m ³ につき)						
				6m ³ まで	7m ³ ～ 10m ³	11m ³ ～ 20m ³	21m ³ ～ 30m ³	31m ³ ～ 50m ³	51m ³ ～ 300m ³	301m ³ ～
一 般	小 口 径	13	670円	0円	30円	120円	170円	230円	270円	310円
		20	740円							
		25	910円							
	中 口 径	30	1,000円	30円	170円	230円	270円	310円		
		40	1,700円							
		50	3,100円							
	大 口 径	75	7,000円	30円	170円	270円	310円			
		100	19,000円							
		150	78,000円							
		200	172,000円							
	250	315,000円								
区分			基本料金	従量料金(1m ³ につき)						
公衆浴場			740円	75円						
臨時			メーター口径 に準ずる	450円						
口 座 振 替 割 引			1回当たり 100円							
平 均 料 金 改 定 率			5. 5 %							

※平成26年(2014年)6月検針分から消費税相当額を8%に改定

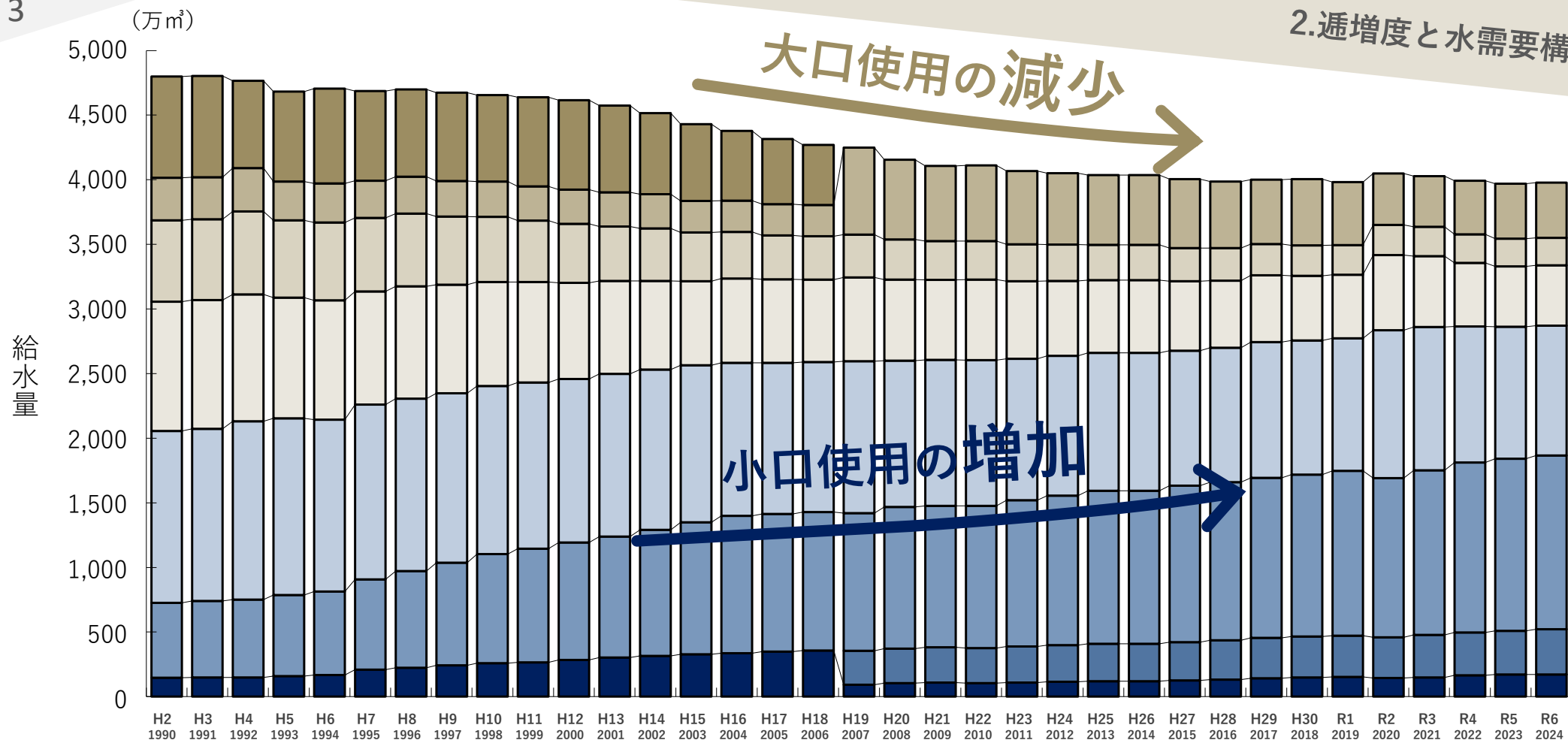
吹田市水道事業年報 令和7年度(2025年度)版
市ホームページ掲載場所

<https://www.city.suita.osaka.jp/kurashi/1018513/1018531/1018533/1022844.html>

くらし > 水道 > 水道事業の計画・経営状況 > 経営状況等 > 水道事業年報



2次元コード



逓増度

4.5

逓増度

3.6

逓増度

2.9

凡例

段階別給水量 1 か月当たりの使用水量

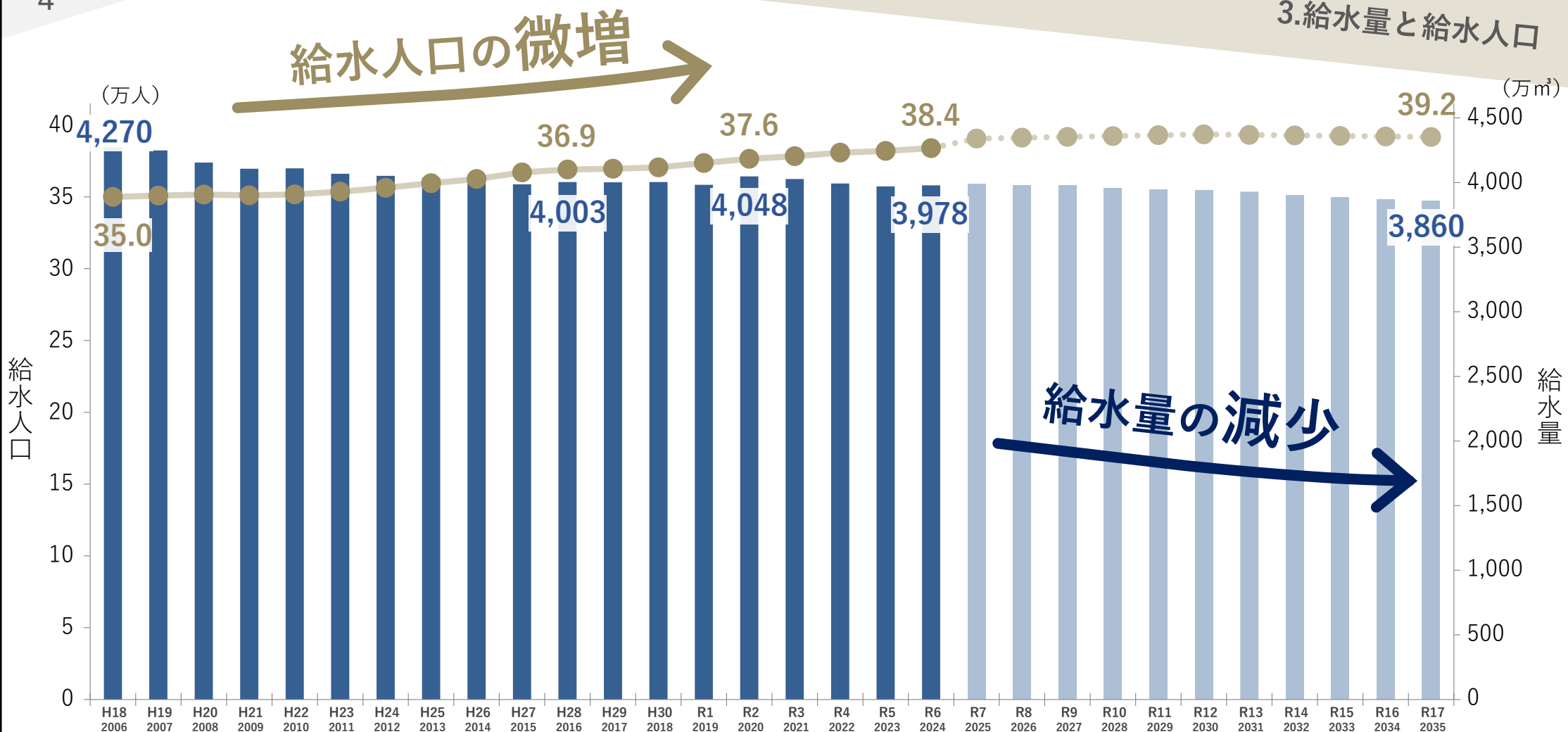
1,001 m^3 以上301~1,000 m^3 ※ H19以降、区分の見直しにより「301 m^3 以上」の水量を表しています51~300 m^3 31~50 m^3 21~30 m^3 11~20 m^3 7~10 m^3 0~10 m^3 ※ H19以降、区分の見直しにより「0~6 m^3 」の水量を表しています

逓増度 逓増度の度合いを示すもの

・口径20mmのメーターでの1 m^3 当たりの最高単価が最低となる料金単価の何倍になるのかを示したもの。

【現在の本市の逓増度】

$$\frac{\text{最高となる単価}}{\text{最低となる単価}} = \frac{330\text{円}}{115\text{円}} \div 2.9$$



凡例

給水量



実績値



すいすいビジョン2035_推計値

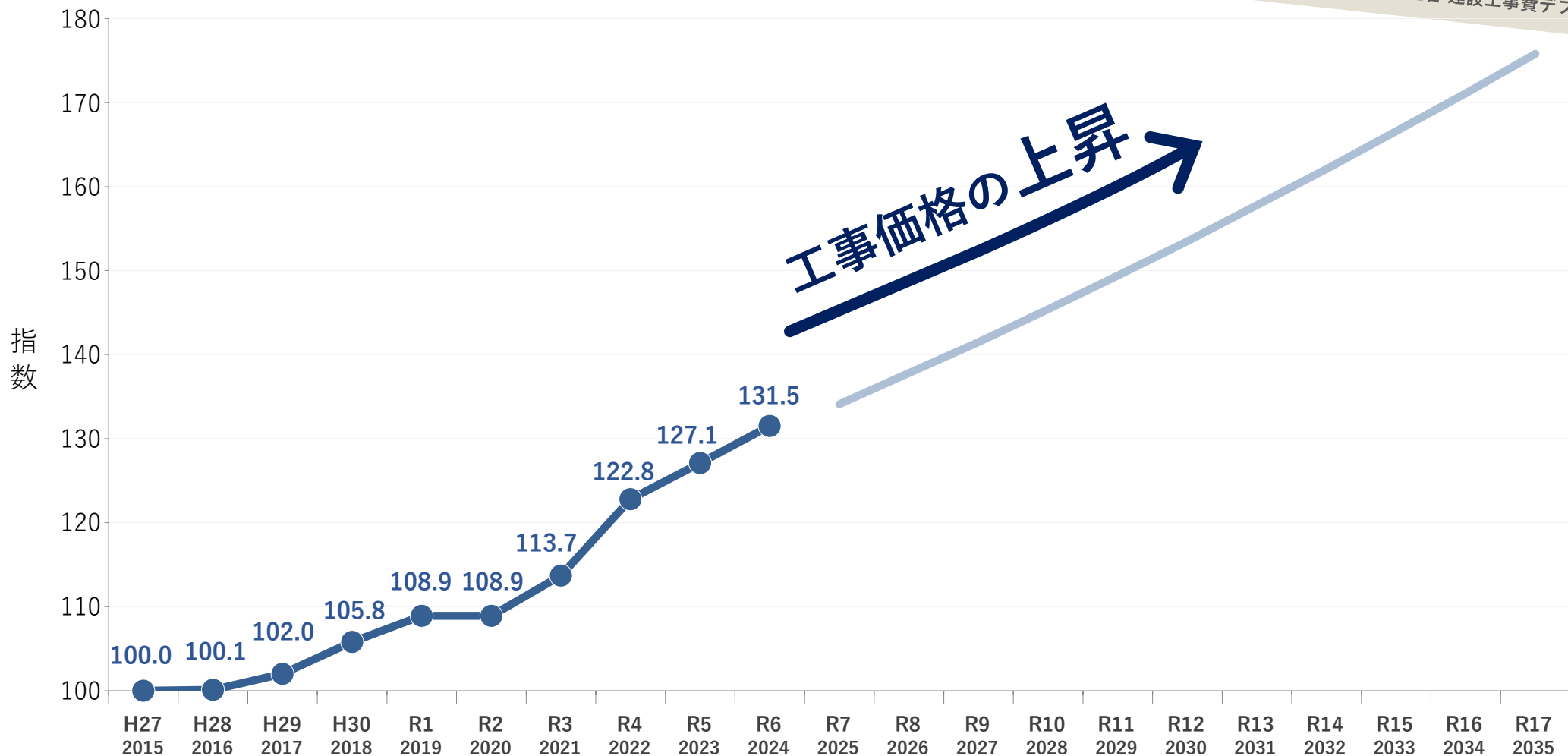
給水人口



実績値



すいすいビジョン2035_推計値



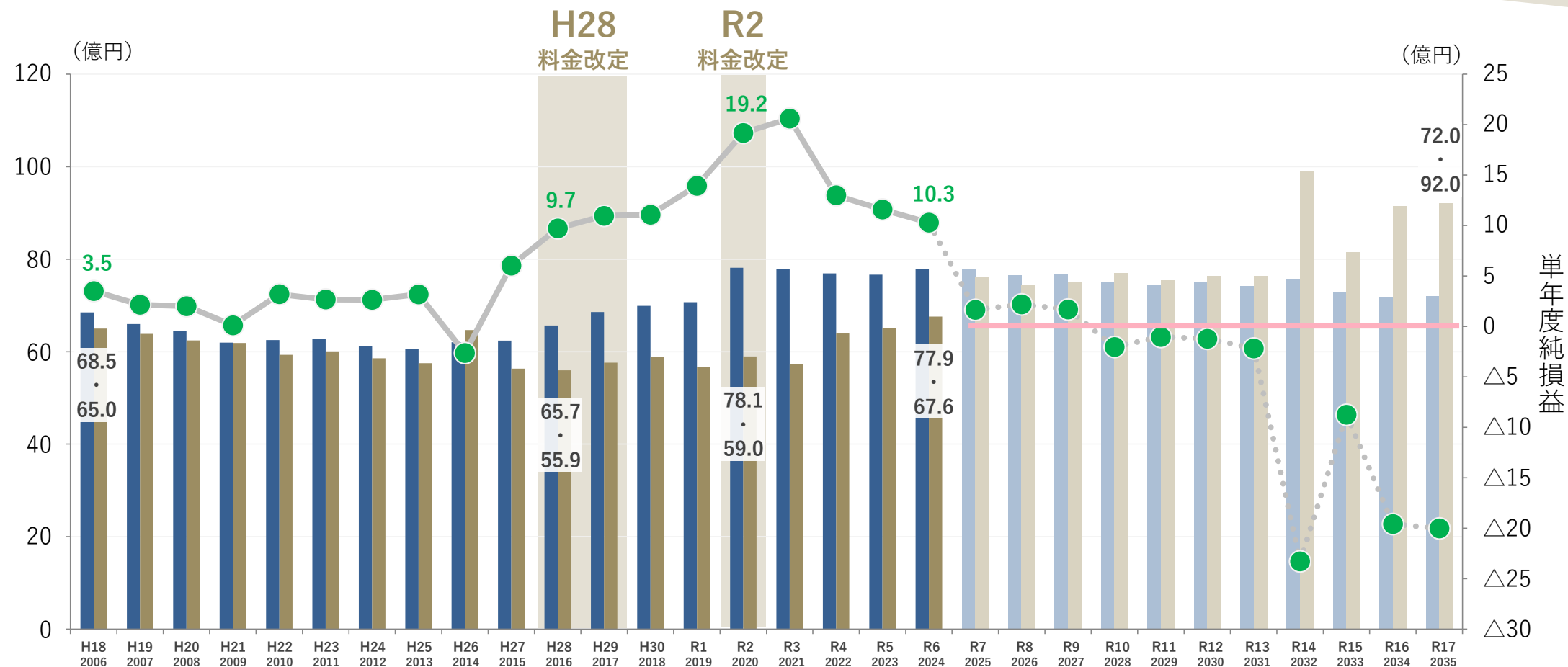
凡例

建設工事デフレーター(指数)

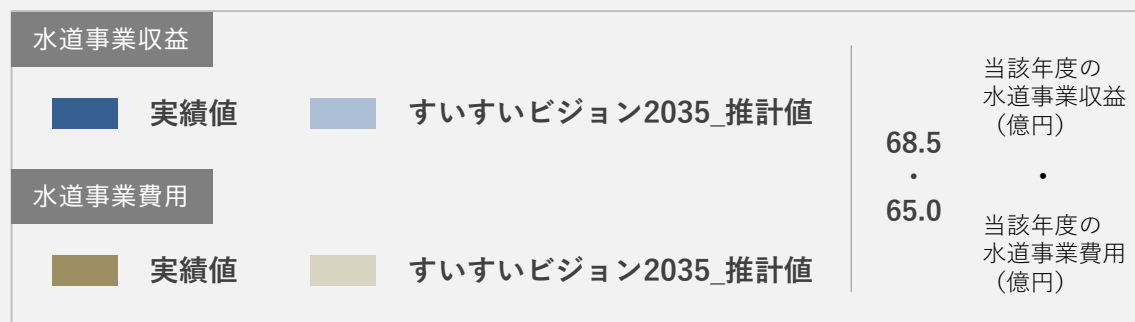
建設工事に係る工事費を基準年度の実質額に変換する目的で、毎月作成、公表されているもの
基準年は「平成27年(2015)」

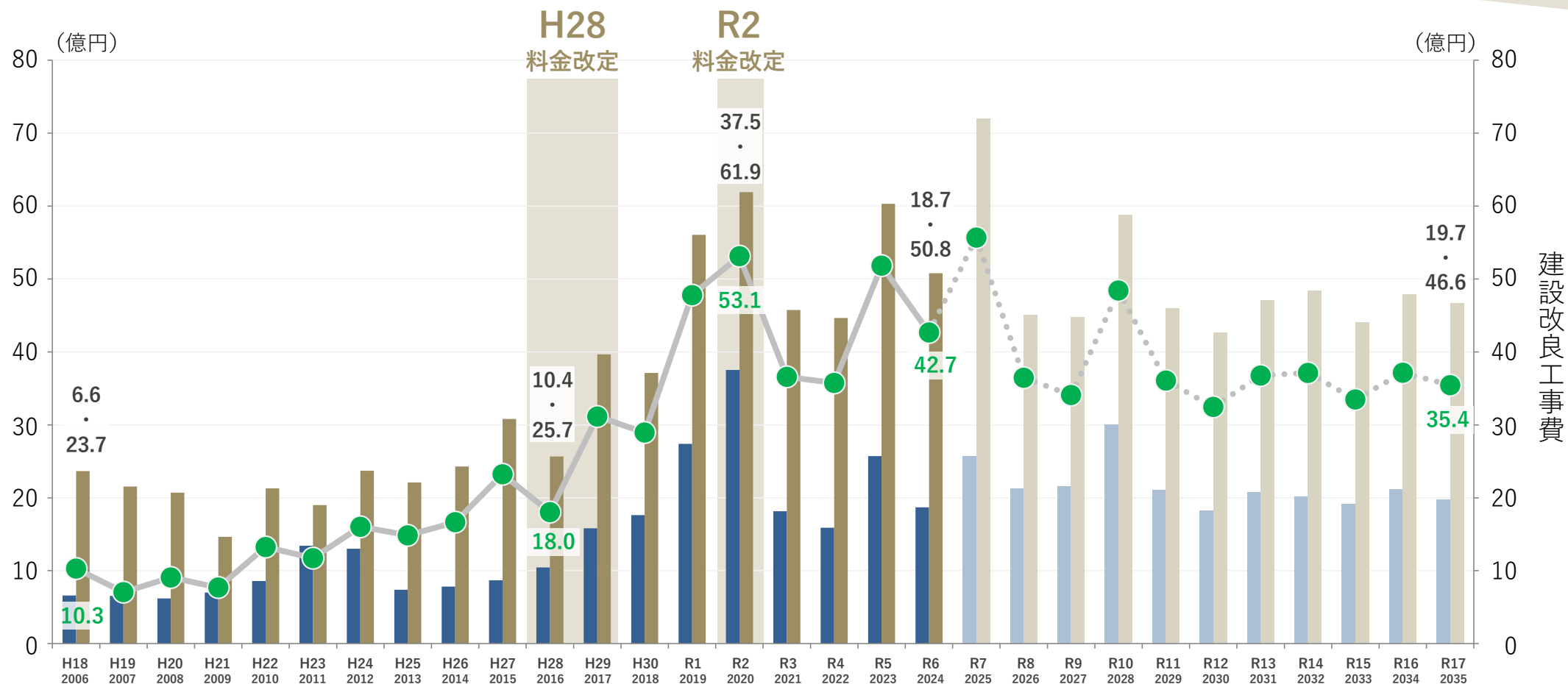
—●— その他土木 「上・工業用水道」の数値

水道事業収益・水道事業費用



凡例





資本的收入



資本的支出



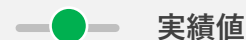
当該年度の
資本的収入
(億円)

6.6

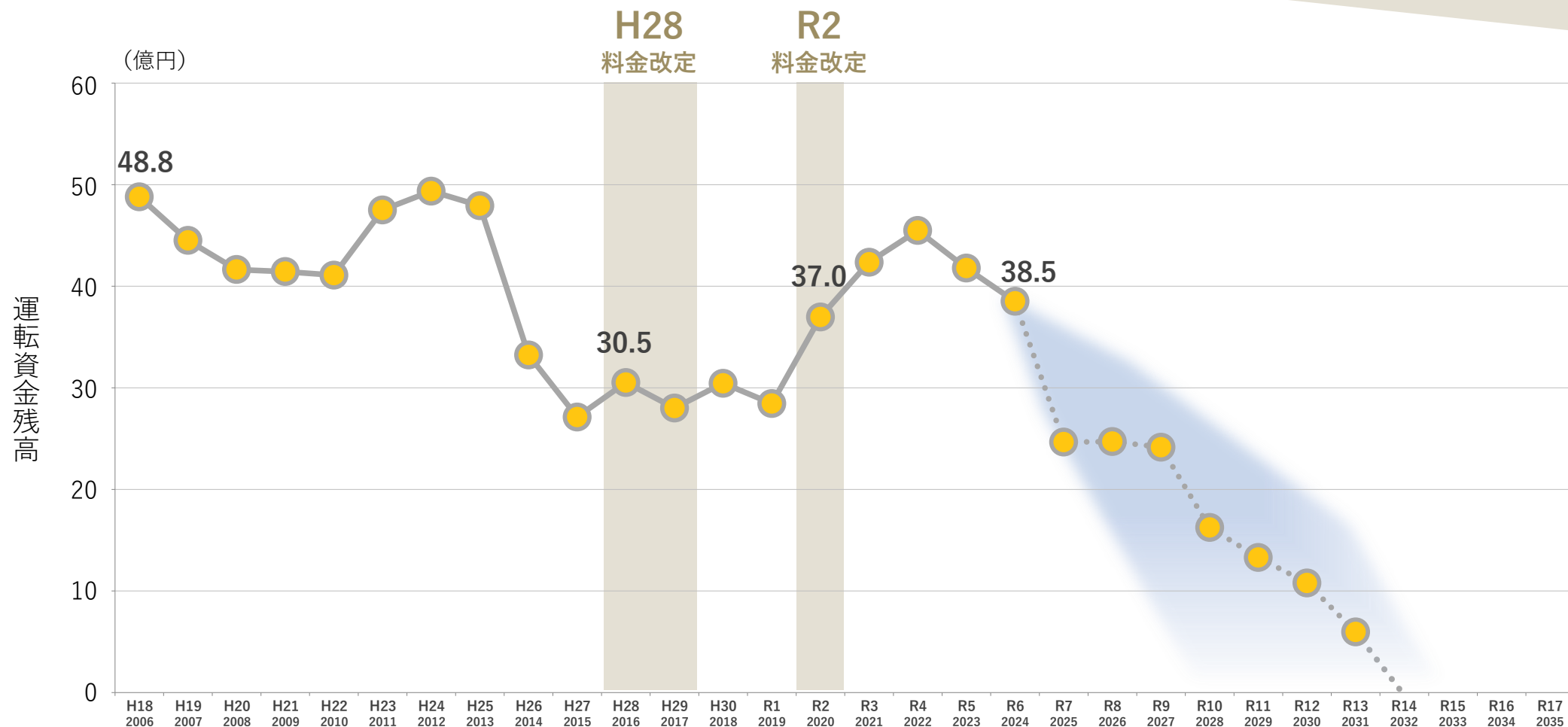
23.7

当該年度の
資本的支出
(億円)

建設改良工事費



すいすいビジョン2035_推計値



凡例

運転資金残高

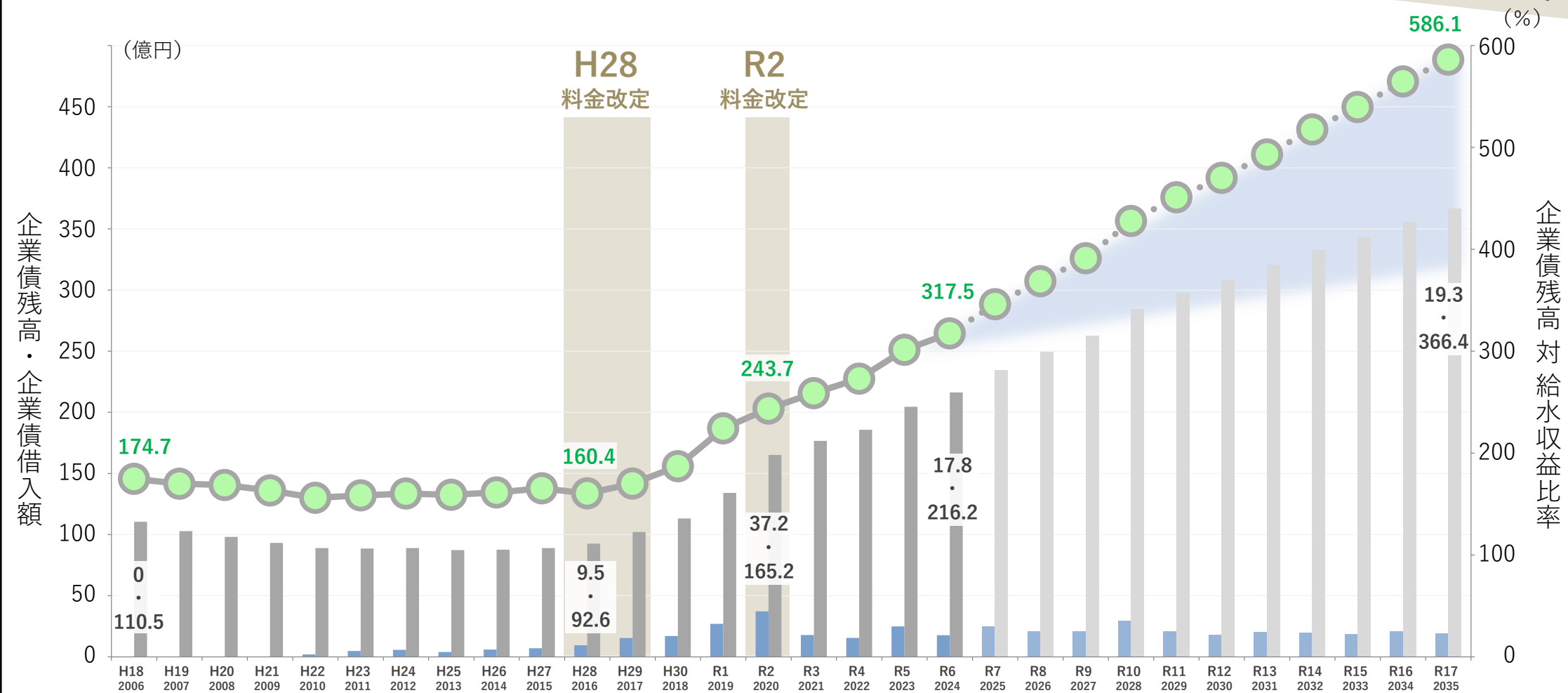


実績値

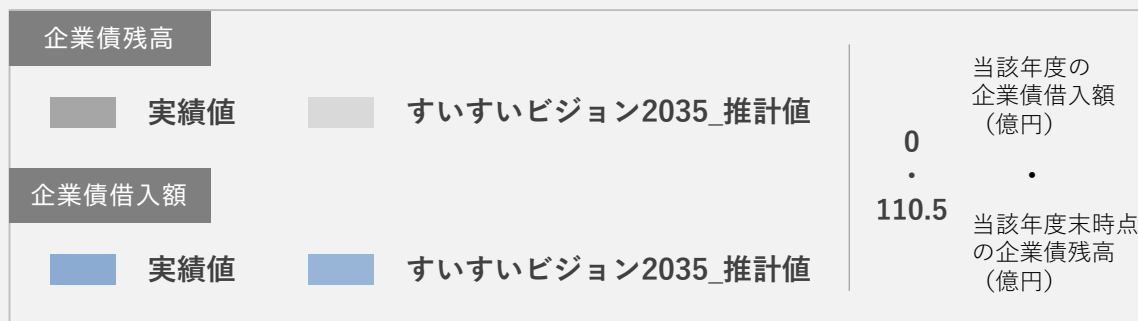


すいすいビジョン2035_推計値

物価変動などを含んだ変動幅を示しています

8.企業債残高 対
給水収益比率

凡例



- 水道事業は**独立採算制の原則に基づき経営**しています。
 ただし、水道料金収入を充てることが適当でないものなど、一部の経費は除きます。
- 水道料金は①**公正妥当であること**、②**適正な原価を基礎とすること**、③**健全な運営が確保できること**、とされています。

水道料金算定の原則

※参考文献：「水道料金算定要領」公益社団法人 日本水道協会 令和7年2月

独立採算制の原則

（地方公営企業法 第17条の2第2項）

「地方公営企業の特別会計においては、その経費は、前項の規定により地方公共団体の一般会計又は他の特別会計において負担するものを除き、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもつて充てなければならない。」

経費の負担の原則

（地方公営企業法 第17条の2第1項）

- 1 その性質上当該地方公営企業の経営に伴う収入をもつて充てることが適当でない経費
 → 一般行政経費（ex.消火栓関係経費等）
- 2 当該地方公営企業の性質上能率的な経営を行なつてもなおその経営に伴う収入のみをもつて充てることが客観的に困難であると認められる経費 → 不採算経費（ex.山間地や離島の経費等）

水道料金の 決定原則

公正妥当性

- 適正なサービスと料金水準
- 公平な料金体系

適正な原価

- 原価主義（総括原価、個別原価）

健全運営の確保

- 資産維持費

（地方公営企業法 第21条第2項）

水道料金は「公正妥当なものでなければならず、かつ、能率的な経営のもとにおける適正な原価を基礎とし、**地方公営企業の健全な運営を確保することができるものでなければならない**」

（水道法_第14条_第2項各号）

水道料金が、「健全な運営を確保することができる**公正妥当なものであること**」「**定率又は定額をもつて明確に定められていること**」「**特定の者に対して不当な差別的取扱いをするものでないこと**」等

（水道法施行規則_第12条_第1項各号）

水道設定が、「算定時からおおむね**3年から5年後までの期間について算定されたものであること**」「**適切な時期に見直しを行うこと**」等

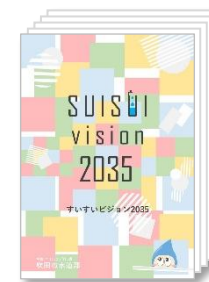
(2) 財政計画の目標設定

健全な水道事業経営を今後も持続するために、財政計画の目標を以下のとおり設定しています。

目標

水道事業経営の持続性向上のために必要な運転資金の確保を目指し、計画期間内における「運転資金残高」の目標額を28億円としています。

現状のシミュレーション結果では、令和10年度（2028年度）には短期的な支払に必要な金額17億円を下まわる見込みとなっていることから、更なる経費縮減に努めながら、令和9年度（2027年度）までには料金改定を含めた収入確保策を実施します。



SUISUI vision 2035

P73

運転資金
残高目標

目標
28億円

=

短期的な支払に必要な金額

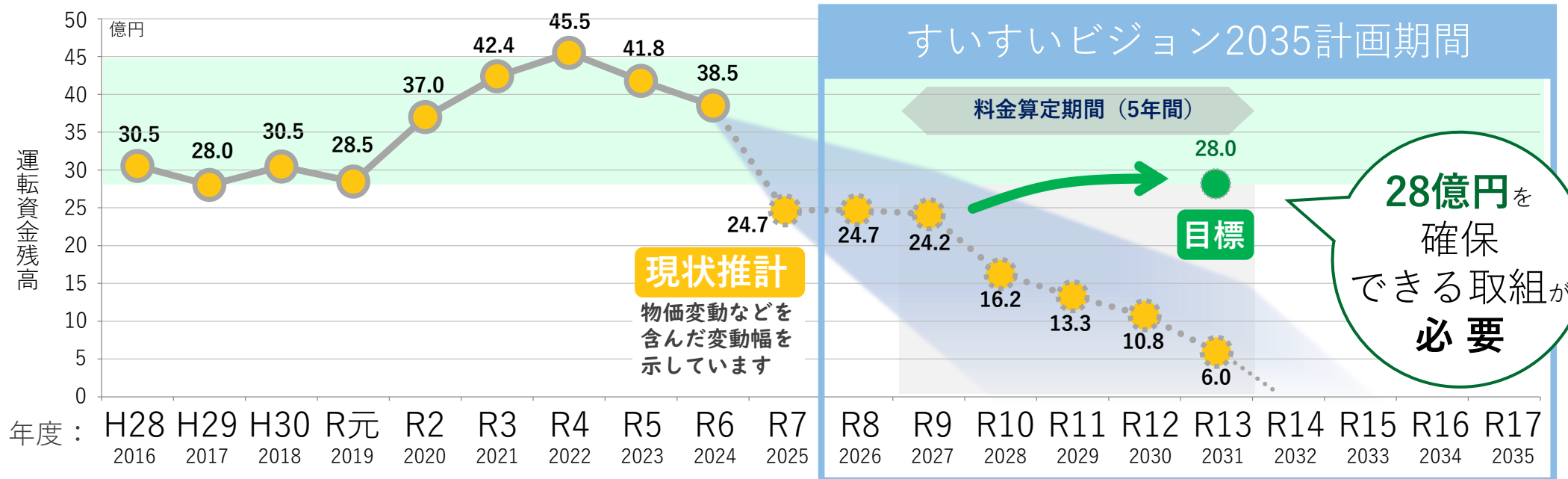
17億円

災害時に収入が途絶える期間の備え

+

11億円

(1か月の最大支払額+翌年度の企業債償還金)





第15次水道事業経営審議会において

諮問「健全経営の持続に向けた考え方と料金水準について」

に関する今後の審議予定内容

第5回
(本日)

- 諮問「持続可能な事業経営のための適正な水道料金の水準等について」

第6回
(R8.2月頃)

- 投資財政計画（シミュレーション条件、収益的収支と資本的収支、経営努力の取組など）
- 近年の料金改定実施状況（全国・大阪府）

第7回
(R8.5月頃)

- 水道料金算定の仕組み（総括原価方式など）
- 料金算定シミュレーションの提示（シミュレーション案、基本料金割合と逓増度など）

第8回
(R8.7月頃)

- 諮問審議の意見整理
- 答申案 その他審議

第9回
(R8.9月頃)

- 答申